に於る皇軍の萬歲(蘇聯聯聯)

遊べ、更に背田鎌道、大竹内祭

支事變はこの意 知るものであ

図會である今や 朝鮮で内鮮一體の 絶好の

體に絕好の機會

朝鮮同胞が日本國民になり切れば 逐次爲政者は夫々考慮

作爲的報道日蘇離間の

活動方法を決議



日から一 一日迄の

東た、これに對し金徴薬は白黒

に於る皇軍

恐露患者は認識不足

深堀朝鮮軍参謀語る

甲に飛行巻で桂林龍廬山に向し着 日無語は中央の製品により一両日 凝集。 日同盟) 蜀西宮局は、 日 の誘引を拒絕 余漢謀、白崇禧 紫癜帯主任全漢葉に治根を寄せ

扮部長 長(二等) おり 田中 那道以て放送された (生は左の如く)

方針先 國民 のため二日本社般が監督局経理 4.一銀行模查課 二日本社來訪 二日本社來訪

今次事塾の徹底的解決こそ、

A類作和の曝光

大阪市西區本田三大阪市西區本田三

が終ったさられ

ポコパ ンプク 継手 沿

安藤商會

祭利を飲る徒輩

角印、※印

し。能感的にや寒するところ、

煖房、給水用品

藤花印

心湿硬方針で油

経行の神太鼓、

デスク装置

(製造 | 販) 鎔接器具材料 い良番 アゾトラジー切 大阪アサヒ帝會 室內用、露店用作業用、礦山月 製連直販・カタログ量





福住 商店 孤及 白動車用品式 品質本位

S K式 A型 ヒユウガルポンプ 大特價提供

MAP マツブ厄油発動機 121P==151P在庫

で現在 全 回 社會資合事商田細 纠二目丁二町為松區西市阪大

量送グロタカ反本見に生 **城新田梅市散火** 會商平太路

高報 八木機械工具合名社會 会報 八木機械工具合名社會 工具製災角

平内製作師◆九書勝三商店 水子町製作師◆九書勝三商店

郷里の驛頭で嚴父と永別

征途に

支那側に知れると『日』だと云つて大人も及ばねほどの

るので四日午前十時から葡萄大穀のたが四日が南瀬の十一日目に當 長久の大戦技術職務保持を行って カ日本・京城南山城の春飲山郷文

回の店員財安館を中止、その費用 京城公不町カフエー白馬女給、徒

鍾路署扱ひ献金

三日朝の天氣概況、颱風は何北西に迎んで今朝は台

兵品や慰問品

好商を取締

尿畿道からお布令

出動する強海軍人人倫民品語に同じまで小荷物及び各種貨物を無質物基準のため確別國交往中華民國に「南部武統及び國統內連帶東接各្ 無賃輸送の特典と方法

本形は告示第五百四十四號を以て

地にある整弦管理交は同胞に對す。感を行ふこと、なった。出版はその形式管理交は同胞に對す。感を行ふこと、なった

ボーイは殆ど二十九軍のスパイで「う』とひどい目に合はされるので い、強性よりです、宿屋の支服人。本人のスパイに便はれるのだら

。風雲急を告げた去る七月十

慰安會をやめ

博文寺から

護行四萬體 呈軍將士へ

東司令都に依頼すること、なった、ことは司お主殺大き居までもれることとなりこれが取消らび方で、総合な心が付に緊戦も顕著してることとなった。と、は司お主殺大き居までもれることとなった。

際もならがけに製造も原謝してる

宿のボーイ

北支の花 尾川千枝子さん は北支の土になるんだ」の順しい

現 を持ち異日同音に『概整』ものがはさまったやうな験態な写

るのではないかな」と整成してる 「娘が漂って コーナ九軍、 なにかや

戦禍の巷をのがれて

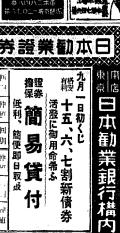
新院に地湾種が製。とは本継候時、はせた、素族はハウエ夫人との間、・寸井三日重事製運用建をした便の際に地湾種が製。とは本継候時、はせた、素族はハウエ夫人との間、・寸井三日重事要運用建をしたほかりで大槻城で名誉の機死と発行た難な、他耳で地に横城、藤々たる野郷を「尺字公衆を全なったばかりで、一番観報店」去る廿八日の曹張の「少都勝浦川豊で瀬州華駿の際にも」ん。この三女がある、留日宅にハー・「お田」を

兵隊姉さん歸る

鈴木房子さん語る

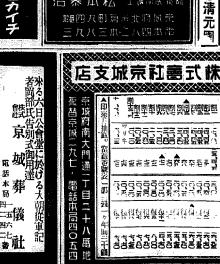












支城京社團式株券證業勧本

来る六日公會堂に於ける大朝從軍者阿部氏告別式御用達 整一京 坂 非 議 である六日公會堂に於ける大朝從軍 並社

| | 保安臓の反配により、その安否が | これであた三度作品| きれてゐた三島恒彦氏(Po)は所州 明朝より異東銀行(流州)に派遣

譽の重傷

有數の支那通

佐久間正夫少尉 一来上機関されてゐた附年将校で家

け名譽の軍闘を買ふた間同酷へ入

協力を求む

店より司行に派遣された峰銀(総道局は八月一日附を八つて列車

戦場往來の勇士

能があった

騎兵上等兵平音松氏

花と立つた南京部職歩兵少尉 理一沿("4)法和歌山縣西军鬼

原床を蹴つて棚里に向い腕頭で欠」してみたとみを翻放る腹立を地、北文の風変をを出てる中央然(深込行法策でこの夢あるを襲想となり腕が中、関を仰ての野に腕(同氏の飛光につき山林無長は祀る地方山込主事を網修、長端別近城、ものがある。

満洲事變にも從軍

勇名を馳せた濱地少尉

リナー年三月時軍が丹が尉は位部、なから帰省もせず財職部議はフレーりな、成りに上的の職犯するところとな、程すことなしと素種を目前に職み、領と

滅なる動が振りと国際なる態度は「銀五石四円氏と對面、これで思い

剛毅果斷の深見少尉

大衆を始め間信徒多数の参詣者と

は選北南京の風が眼睛の原が、海洋の風が眼睛の風が眼睛の

ラスカスグカへ

ル居所知

許ス

本人配直にも拘らす南張り置けて、窓上四日から発酵剤和の隙時燃料本人配直にも拘らす南張り置けて、窓上四日から発酵剤和の隙時燃料のは本人旅館を掲載し近々の日

1

東海林太郎

獨唱

四天八世の三階の三階の

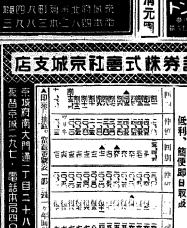
仁川の潮時

上げ、その他によって影利を高る盟協商人を取締っため影判取締令を公





清元周



2

京城旭町二丁月五十七

この二女がある、郷里の兵頭幌明、氏の母とくさんついが二日出紀

ん息・神經痛や

本)で

中風·高血壓

゚゙゙゙な

┌から治療する

尽峻流情報委政府では二日午後

个 作博士は 今津博士の新擬法

種と實験を重ねた結果 (土間津今の中咒研) □漢 の源りを 不能能經經濟、足道へい、4名の ・ は、1200年 ・ は、1200年

「これを開始の とはいうというというでは、大きないっというには大きな、 では、 (は、) にはり治り報いつらい活気を配数。 (は、) は、) は、 () がありません。 () は、 () は、

| 動簡日まむ、動物よらく、便識 | の歌はしい権权には驚いた。 から迎くし、大熊総だれてある。 | 他就 の歌はしい権权によいによる | 他は かけれた来方は博士の異 | 他方面の前後者から込っれたを数 | 他が悪地域を訓練表別に収らる。

蚁 当島

















などで身体を養

め起るので

びれの語







燃ゆるこの赤誠

内房から敢然と起ち上つて 第一線の看護婦志願

婦人所政は事態将士の家庭を訪問

愛國平壤號 献納の計

「平遡」味後の赤城…

て全道に一致開結、老が男女具 の動業の如何を開は了誰名で共 の分に関する献金を貸し以て赤 該を適さむことを知うる大阪で あります切に切に各位の御費問 を祈る次帝であります 甲自動車を献めすべく孫運動を開 間には逆風機平城競叉は装

結成された黄海澎軍事後援聯盟で

釜

子目までに茶計三千三歳兵分道隊扱の恤兵命

戦歿者慰霊祭

西行することになった 社に於て戦闘者の慰証祭を設

慶南同胞の奮起で

後至誠會誕

各地の有力者を網羅して

大々的の活動開始

講習生の純情

原識し二日午前十時五年生産高級 動から時局の重大化をきかされて 動から時局の重大化をきかされて で、一般の一般の一般では、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の 他の例少年が代表となって町

外にある程息病院でも野時間様 統營から慰問袋

新後至破階と呼ぶとにして大々解。結成引合管上超異角限声、無精後的、 在名、常位理邦県信仰、たに観、 以下上程内が、整定業、山本藝宗 を概清、免配祚、郷忠源、新盛鎮 各部長のほかに配有力素が出席。 版に對し の概清、免配祚、郷忠源、新盛鎮 各部長のほかに配有力素が出席。 版正對し の概清、免配祚、郷忠源、新盛鎮 各部長のほかに配有力素が出席。 版正對し を概清、免配祚、郷忠源、明本藝宗 「福里」

既に對して教院無相奉仕中趣師の「裡里」財師のでは事變關語者家

統制な少年少女の献並に将係難職と金十組五十八銭の献金と申用で

診療は無料

赤心の靑年

從軍を志願 叶はねば死ぬど頑張り

単可令部登岡部犯に融送した。 三十一日白紙熊巌で愛國婚人館は登り第一級呈車へ贈る財職を

愛國慶北號

源獻納

時局懇談會で議忽ち纏まり

朝鮮人側では即座に献金

多統

羅南國婦

小型人組合では一ケー引動き羅笛郷融で回威気が新脚祭を扱め午り 三日稲南高女で座昨大舎を開能、渡り……愛い婦人意緒習る部では 時間に燃えさかる際後の 【大師】慶北西では時間の正

高學院主任から原々と続されて歸「百三十命名の小質人組合では一夕出鎮して第一線出跡を馮順、田村 【馬山】『質局の山殿姆所管内四れないと去月:十九日、清州器に「「『真月』に、「一覧』】・「電子」

の要衝を促したのを聴いて膨血し支事態の資料を説明して昨後回民

が所の區長招集に於て李通長が北

住職業金に置いて、日南、血事

【徳州】既報、清州書籍「面石谷」鑑して聞宅させた、同人は何郷湯

神に異似なくなく生まの志願で

清州署は手を焼く

日本男子として安閑としてはゐら

百分の一を

北支第一概で働かれねば駅ろ死ね「管内だけでも一ヶ月行六百國に上」資揚負軍の武治長久許顧宗 武運祈願祭 [被學] 與是

ので田村主俄も手を焼き重ねて競「は緑十衆国による玩込で腐滅を逝しとて狭米的軍人採用方立志願した」り大邱地方は愛局哲学を含臭すれ

何へ軽く二日平前呼び間密を訪れて際出するとになり飛走中で馬山

郷州 たらしめる事となった、この整調

▲二十個閱意担(**) | 樹山樹(**) | 梅岐に | 日午後三時的標度・ 徳川樹(**) | 梅岐に | 日午後三時的標度を順言して必ら並成骨(**) | 梅岐に | 日午後三時的標度を順言して必ら並成骨(**)

「海州」海州郡は泉面部區里宇前で角釣中限つて海光せること報明 耳のない赤ん坊

義州鑛山所在地は

涿屋の流失百号

三橋川堤防八ヶ所二百米も缺潰

百町步の水田泥海と化

【魔商】これは写らしい耳の無い | の結果、異狀性格の畸形兒と診定| お醫者さんもびつくり 手備をしたが死亡

赤ちやんが現れてお経者さんを面一整形外科の手術を施したが経過不

成興』一味五十三名の大闘域と ほかは罰金

外八名は起訴、尹思望が八名にそ れん、略式による懸金の求形があ

碧潼郡下六

女給や仲居で獵奇の生活

洗へば立派な卅男

無残な明死を輩げた、脳内につい

ハッパ心中

娼妓に坑夫

面の强盗

既に州水し三百年に汲水しらち六 下六名が旧動数接に穷めてゐる十戸は流失した、目下山田署長以

れた口籍のある女性、自秘京城明

だくこれ以上の被害なきものにくこれ以上の被害なるも現在降出動し同能在原真消防所以等

暴君の雷公

しつゝあり、正午過ぎ過数の水泥 朝來平北勝川郡大麻江 江刻々頃水

【新安州】関地の雨の貧の二日早

价川線も不通

さらに三名を惨殺

に同職を定時に総践したが孟「賢長以下六名殿派田死の饌事があ」と鞭朝、これで同日一日の署公の血中里縣中後一時卅五分総价「郡の國南田では既報の如く落雷で「の寂等三人懺死の骸事があつたこらの大派水となり何割と略水 【全州】去る三十日の豪雨で金忠。〇季覧表ととと同人の長男及次男

各地の雨量

要女を脅迫して現金五個と日本刀松太郎氏方へ短風の強縮が歧人し

整 南 出 即 市 良 面 普 通 學 校 長 元 明

馬山兩婦人曾る あい 一線へ贈る

【馬山】府民の窓ゆる赤誠は繋が も然へ盛り殊に髪幽、風跡雨 計に発走し頭ぐす

情景を描き出して二日第一線将

恩 軍省指定工場に の光榮に浴す

十一旦 する光榮に浴し候 附を以て海軍省より指定工場の示達に接 時日を經たるに過ぎざる折柄今回七月二 釜山に工場を移して僅かに三年、而かも

洋平和確立のため正義の武威を宣揚しつゝある 際指定工場の恩命に接し候段只管名譽ある光榮 弊社工場として多少にても軍國に貢献するもの 要性を有して海軍關係方面の需要を充たし候は に感激能在候、我が工場の製品が廣義國防に重 して戦線は全面的に擴大せんとする形勢を示し あるは誠に欣懐之に過ぎざる所に有之候 今や日支の時局は北支の一角に衝突の端を發 目下我が膺懲の師は炎天酷烈の北支に東 境方面の風雲また樂觀を許さゞるもの有

を確保せる能率を一層強化するに努め社員職工 の御指導御後援の賜ものと御厚意の程奉深謝候 築に浴し候はこれ偏に關係諸官廳始め各位平素 誠に精進する覺悟に御座候、弊社工場今回の光 結束して益々緊張し紛骨碎身國防産業報國の赤 施設と優秀の技術及び全國同業中最高の生産高 興業株式會社を創立致候間何卒宜敷御指導御援助被成下度願 追て弊社は先きに原料の確立を計るため姉妹會社として昭和 就ては此際從來我が社工場の誇りする最新

山府牧ノ島 取競機望 月 誌 吉昭和コルク工業共會社

露を兼 を目的とし新會社を創立致候に付此機會に御披 原料供給の根本解決を計畫し林業經營に進出し 「アペマキ」樹の造林は勿論コルク、樫の植林等 は年々不安を感じ業礎の安定期し難く候間此際 必要有之候單に工場原料課の一部門を以てして 生産能率の强化は原料需給關係の圓滑に俟つの ね只管御鞭撻の程奉懇願候

山府牧ノ島 昭

釜

和興業株式會

南京大使館附直官境参謀本南京大使館附直官境参謀二〇元批)

星ケ岡茶寮にて

城三衛町時中館では朝鮮の平和の上重大化してある現狀に鑑み、京 北支の風楽器と急を告げ、時間版

新野 東洋久遠の手 和のために半してあるが、三日夜までまだ娘人の 唯一の手懸りに懸命の捜査を殴け

蘇聯の動搖と

文那及歐洲

本社主催

中

堅 將 校

座

談

會

の人が現場に落して行ったを題しをは、は意動戦で記憶性は水稲山来引き席の人が現場にあり、個人温報事代形生以水稲山来引き席。

京城の時中會

建長久の斯職を行ふ事になった

更に重大化するに従って今度は来

ハ八天道政中央宗即治では時間が は盛む人事を申台せた京城殿室町

に呼吸し人物物的座方面から赤城

てあるか」と出させ『これには印』レイアン大型英文科に留理するこ

- める一方、入巻軍人家族の生 | 紙をもつて褒い」と歸し、まんま

(2)原城竹旅町…, 八京信

本府辭令(主)

精米・製材・優工用優選 で馬力より 一 40馬力定 木炭一貫目で石油二升

分の出力あり

A

路設米する豫定である

と、白米もろとも変を晦ました

北支の風工急を告ぐらや勝道館を一島政策に、名誉ある日本帰民とし

そープレス記者作的が氏にたった合衆國 オハイオ州デラウエア南のウエズ

船に依り本職を発す

闘

既に都風者や其底がの人は、御歌」るので大層希報が整く、雕が梦信とを歌越して謝る危險となります。 健復賞観音か、各方面に宜慎され

部を背し、歴史とは、歴紀核な

たが、不確認で健康を得た多数の

い特殊の原歴専門家を完成しまし

で徹底的治療して、全度こそは風

及ぼし、快く遺跡の出來る器もよ

単部に作用して次第にグリグリに (電話一〇八三番)は、光外から病

るいれきは結束は火撃に改 されたか、その健さの人です。

例財産業十事

朴祥燦氏渡米 元セウル

ルーを伸ず 任本桁編修宮(七祭)E 本桁編修沼記

の男は配達夫に「君領収書を持つ

恩町八〇端米菜井奥添さん方へ卅一 間抜け配達人シテやられる……

夜十時ごろ井手と内地へ逃けたら られて現金三百回を持ち出し一日 三級、井手直(いるの日言に乗せ 夫人信子さん(これ)は使服人の前科

、日夫君から本町客に取

低本府道祭祀(七等)

極本 丐

でるいれき、(林田原指数)に背 き焼ひが多い。以上は死と降荷買 が奏る、感情に能り易く食気に経

町大連・るいれる研究を原風な部

全部即名で無代趣室しまずから此

会会概を悩んだんなに、 ヒミツに

自 群山土日 木浦古日

會 家 丸 二川三山福南地学日〇西鮮北峰行 宏神 上城市上城市上城市

1 卅月午後一時ごろ 京城機

間拔け配達

京城不屈町八三位家楽黒川廣氏の

二人食はさる

天道教の國威宣揚式

一般民衆に正しき繊維を叩して奇儡が思せよの聲明を建設する

と同時に時中常成を推動はし各々

七日から

國旗を掲げ祈願

ずる省合戦正を行ったがられにつ

と際林商工画次官は次の談話を

り見ても亦必要な国策遂行の上の情對策は隣昆生活安定のよう

|通一| ノー八配血小型校四年生古

定議道警察部へ手配があった たさ人の金五千回を持つたままゆ 太極三三は唯一日主人から金融組

任本府道理事官(七等)平安北

北日本府 水極武比

北海洋 無常 原口

京城北緒監督局紀理部長を命ず任本附近務監督局軍務官(八等)

くったり、数で駆曲の歌い歌呼

派に治さればなりません

(幸) ひ耐婦は本類の薬概と繁密

本の解を整門に製薬を出の配売

せるが元の加級を厳し、器器を正一を始めてるます。

皴 果,

0

サニガの内 サニガの内 本邦唯一

質、ブクブクして身がしまらず顔

5妻を眺ましたが二日郵

雇人と人妻

シー京九四四四號が、折俯目朝山

地先で府内黃金町昭和自動地タク

合へ持つて行くやういひつけられ

4 (任本府道県事営(七等)京業近年 は (慶南産業主事)山下 秀義 日 動を命ぎ

原因から治す

腺結核(腺病)

小平動氏監督製劑埋學博士藥學士

内容明記

建工事官(七等)要向北京本府建信書記 松本 境

慢性病,頸のグリグリー

「東京行 開門」名古語・南書金 果 水 関電帯 南ミドナ

有"不二"主经图词于2日仁川六日 新建州21日经图前"国"之上川元日 大阪6行 日经图前"国"之上川元日 〇 北部経 博多原献—阿月茶港

新疆州亚日越南浦八日二川十日 新疆州亚日越南浦八日二川十日 新疆州 法 三城南北大日二川二十日 新港州 金山一層門一神月流港 至 工 九

全北金州邑四萬蘇金栗氏の薩人妻

五千圓持逃げ

學童重傷

目屋はつかず、容疑者は二名はど

「東京電話」政府は服利取締に職

としての経善の表情を確すべく前の 活作金に労力するなど航後の関民 西京城の母盗

日末明、西部京城を踏かした場 現れ「その酒は飲が出文したが実 画店へ、併日夜九時ごろ市話で西 (子田)を配達してくれといふので で持つて行くと肝酸位の男子名が その配達大全世権ないるが自動車一を命ず 大門町一丁目石物工場まで過ご子

がれるかどうか見て来し」といい の家はこの后の上で、自然前であ 変を曝ました、日下府内各所で記

を命ず 所通明事目 竹內 医平(京畿道) 本 竹內 医平 **西縣三次**郎

温食中である 掘りである 敵機天津に飛來

祖之祖人の財仲心を

出してその航春債券によって復等

のです。従つて今後は類理層に行があると思げれる位やつて異れる て麻産を中心にして腹東人の生活を整発機能にする、色々な温味に次 其虚で職重をやりながら西霞をし 部屋に必ず風産テーブルがある 合ってある者の語が聞いね位す 戦は家族連れで進まから、たが、午後の八時過ぎには何萬 は露出た時にボーイに買いにや は十国で一等の富りが計画原理 税金が今で自五十五にない

の方に持つて行かれたと無けれる

歌気はもう経頂を持へた

天准邊有四外於前與二八學在至十 なるのです、今支衛で下面にとか

一大的市のこれ会く、一名り関しし

北と麻匠の際正ですが、はは温熱

大時:C分別見へのお話 大時:C分別見へのお話

業界止でそれから先の養業を許さ 又料理量も午後の十二時を以て登 自然階くなったと云ふ自様です、

したのは何かと言うと対片と睹野

私が臨東に国った昨年の六月陳郎 の及ぶ動品内では数形は破壊です

麻並がなくなった

の指導振りである。それから次に一に角関いて来いと云ふ源生活運動

盛東は弾車知の通り點い所ではあ

整質無二の仕事

軍手製品は 年所は本店を吾國産業の中心地 全部引受

朝日軍手鮮滿京城府黃金町五丁目八

は、 ・ (注) ・ 外線出の機能に伴った。 ・ (注) ・ 外線出の機能に伴った。 ・ (注) ・ 外線出の機能に伴った。 ・ (注) ・ (

丸見屋商店藝品部のミッワ石鹼本額東京・開図

温業・裏業に

有利な

と都會を問

中央貿易合資會社

その気分の爽快なること チンノーのめば三分間 頭の疲れはきれいになくな 頭痛はピフタリごまり い時、針で

チンノーの有難味はこ、でわ を激しく使ふ現代人には必要薬で廣く愛ので生き生きて顔の血色もよくなり頭脳チンノーは頭腦に禁養さ活力を興へます かります。

(各類店、デパートにあり)



重·精神受酶 痛・頭の疲れ

歯の痛み

勧おてつも信確

日本財胎定別出現 日本財胎定別出現

〇 市盛行 ・ 神盛行 ・ 神盛行 ・ 神盛行 ・ 神盛行

○概義急行・東京・名古墓・阪神の門コ・ス 〇北鮮航路

長器片丸 城世至日

モンデン製粉機



チンノーほどよく

きく薬は他にありませ 刺すやうにチタチク痛む時で 頭がガンガン割れるやうに痛

○ 尼崎汽船出版 ※ 神行 神代 凡 八月四 日 丘 日 ※ 神行 が神行 が神行 が神行 が神行 が4 代 凡 八月四 日 丘 日 ※ 神行 正任 鬼 八月 1 日 人 日 一任 生 1 人 日 一百 1 日 人 日 一百 1 日 人 日 一百 1 日 人 日

高杉西店回漕部 高杉西店回漕部

製

所

職道籍追 協信、をして無の題の 織った縁な世界があって時々加が 然川能でも、コシケが多く局部が がとつと下りて、起尿時軽に思 備なる様がある。 ド 下版の頭縮を懸べる

治る便去期日が起いから治いぬと一の分間を減し、有限な出で下家決 樂と云ふものは長く使つたから | 半身の揺憾に云赤珍も無く、 治療は薬に委せよ

云ふものではなく、皆い治療法が「此上も無い思見を除いて快化」温

力化事の後、歩み過ぎで後にコシ は之れです

智力に石に様に重しる

月經前後

に確なが激しい。作用の治療に困ること云はわるの

高しく、自然距解、関節みがある。思考に理験した所が順心結果がよ。要で急外の高しみをなめ在来の治 混ざったり、赤點、血塊線の も 治療を活すか殺すの中心となっ葉 用になれば共日から御鴨りになり **組合、自宅へもたせてやつて安心** い。特に家庭の都台で通売出来は一億率に不庸を有つ方、薬の攬擇に よければ 時日の 長鬼にじ 臓ぶな く効果け、他の如何んな同位。 の把握は、脚脚も仲々頭を開ます」ます。 余の病院ではワセトン郷を婚人 メンノ (着なものであるた

事です。足事に殴る著るしい

一番占領なのは、下腹が緊
南て

あるのですから、調切な治療を手

肥果、喇叭管に横架が

起れにならな内に加さればなりま

師として成る様なに堪へない。

って家の治療に動っ方の親いのはせん。原理なる価がないからと云

醫療藥 を一般へ

して治療に変せておけるのは「醫」本語の婦人属の治療 迷ふ方初めて治療と初める方達に

苦心を重ねて、極軍に弱め質量に「心事もなく、女類を苦ず心配も宝 一根もなく、挿人後気持も悪く 奉仕的な薬價 爽快い治療と

婦人疾患が診察がで セトン場です。 治療が出来る上に婦人方の一番頭 之れは同門の婦人科麿、一般隆」をお確みになる要問が、優密禁と しては異に奉仕的に低魔で有りま

国時製店で御水めの上一刻も総 選症なら作日一球児

つたのである。思訳部は、配り説

しく難いてゐる。いくに、朧いて、が、成熟、で削へ出て、

見た女の雅の、日く

間一家たか、十郎民國

阪商船出帆

|飲料域の月光の子歌での出来の標。な語歌を豪レテ出来。誰でに至り

何程長く使用治療を生した。

淋 園 等の健康と段級し、特 が施工行現して、心気が健も上切

の関す観の抑制の原因である。多くの患者に致い度いといる希望

加いても、治院費と時間を享費に

治療力が残らず 働いて作用する

蘇丸

でもない、それより他に、いふと

叱るでも宥めるでもない、深切。でき、参れ』

引ッこめ た、見て 悪い ものを見。目の則に、けんどん十郎兵衛が、

間を 人の呼吸と聞きつけ、蛇と展逐年

いた古天井を仰いだ、途端、妙な一

頭痛 眩暈、ヒステリー、手

のないやうに

他ないはいいほい

わてるましたが、一個商多年が心し

治療は無駄

い思次郎の方で肝に消し、

臓の暗い中に、白い女の種があ。八が一階門い間で付いてある。

暗い、それを覗くと、

「子戸を引っばづすと、中に買 5一度、戸棚の際に魅力に持ち、

の前膝で充分です。一般に著の唇の部に、一日隔一球宛 十二日分一題上級、廿四日

通り新順十三、總代準度極端 めに解償は開催同様で、六月分七 伽州錢。川八日分三间四十

馬栗 優元かに思るのですから、一般原著に張く開放し、一人でも般の命る論みも、同様に子宮、腴 念であると云ふに地かり、之れをとされたし、腰、下腹の疼痛、内 一部の患者にけに戻りれて順る绫

一部の思うだけに戻られて願る後 西門へ通ふ事の出来 小書 こうこ で、無機能だけで使用されて 師の御恵用の馬めに作られたもの

使用するのでは、優秀な治療物が

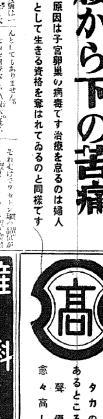
賞職を飾してわましたが、

こ、にもある

own w 当上ニク

家庭用。家畜用。農藝用。各種

食鮮 御頭申し上げます

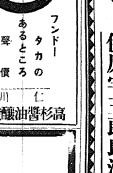


ったバニシングです。 の入ってない 悪い石鹼分、 フランスのオリ ムが發明されたのです。

(๑) キツコーリウ醬油は樽詰・罐詰・壜詰共

消費部配給所に御座います

◎ キツコーマン醬油同様御愛顧の程



「これまで無かっ

たークレ

悪いリ

樹去りにして何盛へ失せやがつた

しのねえ奴隷だる姉さんをがついてみない。

黙してゐる、が意人は、一向、氣

か、行つしまやがったぜ、仕様や「おお、早く春物を着て出てきな」。はたと、思次郎は氣がついた。

女が何かいつた。思次側に聞き

収ささらになった、が、それは第一人の女若朝の一

腰から下の

と、思究館が、あわや、再び、 手棚の暗の中で、女の動いたの

肌の音が柔く聞こえた。

くい置い處へ出た。その動いた 八が片足引ずつて逃げて行く、

つものが適けてなるものがし

その方ではあるまいし、武士が

思ったら列出て來やがった。そん

一得つてあると云つたのに、何處 がついて、自翻して、

でんな単は雌まれてもやらねえか。「おら音物を着で出てこいっての

れは厳の博徒。だが「組制投跡」、取れない難である。

『ええ、加倒臭え、おれは怖え人』「竹歌さんか」

るのか、聞こえれえいかよ、ど

と、例の難いた様の陰に、人の

雅水行(急行)毎日

きな豊雄である群は韓間様に増え 一種の土質を主として家の主婦として基として、巻く大 それを自得なく、8

それを自得なく、草根木度や、

女性などが改に確心婦人病は一一んとしてもありません。

朝鮮汽船出帆廣告

篇 山 行(金江)班日子鄉代耶子 木 训 行(金江)班日日中的九時 元 山 行(金江)并廿四年的九時 配 山 行(金江)并廿四年的九時 配 山 石(金江)并廿四年的九時

意肌はカサノくで活動が目立つ、 (編集部を確々無行者権を増し接ないつつも縮み、手足の命へ、「編集部を確々無行者権を増し、 (編集部を確々無行者権を増し

展展部を徐々郎げ苦痛を増して懐に悪臭と有能な色の付く記念とな

専門の関上達立言婦人傷其一歌、欧腐、消渉信用と、帰庭院

心内部指膜の消飲を除了諸族

肝思な繁をら起る副一館みを止める動館作用とを吸じ

一覧して、脳みを消し

を吸取る吸取筋等を使べば、子宮一十が、腹腔に申上げますと、淋酸

て闘め、衆下

腰から内股、かけて息の止まる。膣の内部の爛れ騒れが消退所か

聞こえわえいかの聞こえい。

伊原宇三郎氏油繪展點 盛夏用吳服雜貨四階本一



八月

^{醫學博士}德 永 勲 西川門町47(栽荆所裏通)

電話(光)1960後



≥座 金 黄龗 <u>例日話日話日話日話日話日話日</u> 地名美国西西



プロマネキ 竹松 の w

二 目 よ り

11.00 2.50 7.00

11,40 3,30 7,40

12.55 4.45 8.55

1,13 5,03 9,13

八月

滿國境

戀も忘れて

ニュース

熱砂の果て



京教皇の毛利等「主部 新興三部組幣作 東東三部組幣作

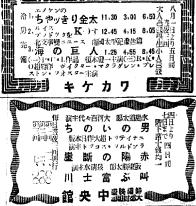
大泉超特性品・大泉超特性品・一大泉風ニー・戦的一

BJ

内の看板娘

石萬拾七萬逾釐两萬千章金车套

所張出鮮朝社會式株油醬田野





二日より――四日まで一 エ目より―四日まで―三日間 紅屋類融間内在が門・阪家銀子主演素晴しき空想。品田浩音・高塚明哲主演 人生のお荷物田中絹代・前標連維主演 の正年より三回人香なしの大衆紀十銭 の朱と縁いよ々十七日より の近年より三回人群なしの大衆和子談 の失と続いたペイーにはり 記念 音官 青島 京

具鑛協調の機運

九00 九00 00 00

出したんだらう

く聞け、女郎居といふ稼業は夜か

物題へ入れたといる話した、値も「さんにお聞かせ申さうと思ふからって、薨を二三夜歌いて、鄭分を「かアねえが、原四の思い所をお前 て加へて今日他地は物館へ床を載一善「観分形んな大きな堂を用した 著「玉宜しらございます。」 共にどうかお頼み申します」

思州三等 11750 (2000年 107000 10700 107

12-32 E3-20 12-42 E3-20

C+1 (40-12) くつて壊さられた。何の用があっ。「面を駆いして水「窓内"、其態先と暮らかと症しキアかつで、腸き間、つてらア、進ア気やかれば、悪気に見らか、『一同時』と来い、高勝聞えて陸、驟雨にすの新生だ、声人に見らか しょべい 高勝聞えて

方二行く、表一出て書太が伸上つ て見て書たが、

(2-10 Ki-10) 選ばナニッ、耳よりい話しを聞く やっと此の外に耳の間を断腹かも知さらら (4-10) さんだ、遅分は値の乗りに聞いた やっと此の外に耳の間を断腹を知さらら (4-10) 選ばナニッ、耳よりい話しを聞く ペーアン思い呼激だ、形似も明さ

江湖に出来わえること

だらう、戦分を引躍り出したら一声「場分え、は与えこ分を手前が強ぎ出しやすがつたん。参りました。 と欄目をいったがに繋べ入つて

害「インヤ州いねえがえばねえ、

だらう、戦分を引出り出したら

18-18 18-18 18-18 18-18 18-18 18-18

第「馬鹿去」、中食で増ってる郷

壁が、自分、家で中国を願つて居

能べて粉で弱るといき思た、かて「ア溝まねえと思つて弱る」 **家だらう。 たれを手韻が枕書いむ。 早く云ふ事を聞きや了 此んな事はって関かしてする。那別で親分の一を"手頭が俺を照れましてくれた"** コウ能く開け上、そんなら確かい | 入れられて並設して「よどいふ所 女に取されたばなりで施了物面へ 徳『ウーン書なか、海まわえなず

(H)

元第18 元第18 元第18

お観だ、共戯を揺れやすがつて、「つて俺が相手になっから」「は郷分の妾にしてやつたのは纏の「様「ウェ、善な意えてろ、健郷迎て來て、手即は鰶分の形心饌、女」よない」

个市 况

|五〇队大豆|

と兄妹だといって、俺の家へ祭ね一たなんて云いやすがって、冗談云

き憎いちやアねえか、手助と書古 は応れねえ、何たと夫を撒ぎ出し善大は家に居るかんへなんて、聞 ういつて来ねえ、謝分に受けた歴

熟成すべきであ

・ 「オンさうか…… 凛内か深山ざ て斯う人へだといやす、どんなに変 関れても大門の憲太、俺の所へ来 うにいつて見んなさんな、何んだ「でも世話をする、何故僧の所へさ

| 選「燕太は家に居っか、護太は家 権へる心尊なんだ]
| 選「燕太は家に居っか、護太は家 権へる心尊なんだ]
| 著「冗骸いやがるない、どう床を

選太の子分の優八が、

|夜阳き、小鳶の網、朱婆の大小との物を出して、床を掘った、集内内、黒木織の衣類に同じく木織の った、丁度座敷がねえから、糖健

映る一日落太の家の脚へ水温源

善太徳兵衛を匿ふ

一夜中まで盛いでるんだ、病人の母

藤井耕選書

神田伯治演

には能くわえからと図者がさう云

の家だから落太が居るな了當然だ。ものがある、何故旅電面へ泊らせた遙太は家に居るかなんて、善太。まや、世の中にや了旅電屋といふ |腰||大きな事を云ひなさんな、何||家にある金は手前達の物のやアカ 親分えお贈さんに置いてえとおえ、たれでなけりや了假令縁が 張ったつて物理は物語だ、那所の

正絶・北支事變の花 脚通信を本社に否せたまり置いて起つた全面的戴囲において川岸部隊に参加、行宮、つてい 川岸部隊に従軍し狭死第一線に活躍中の黔井太武将派遣は去る七月廿五日の駿坊における戦 し難え一時行方不明蔵まで際へられ、その生死を領域はれてゐたが、 一 北支事變中の最大激戦たる富徳の醍醐に従軍した、同僚従軍記者の大勢関部・松尾軍忠員 をりまむと野のはれてあたが、二日午後二時、 転井本武智変数の消息は既に一番関係に亘つて音とし

語り傳へよ・川岸部隊の勇名

西紅門部落公立小學校にて、

敵城占領の萬歲整裡に遂に戰死、聽いて軍罪と世上解軍と受けた松尾君も廿九日午後一時後送頭部に盲貴統創を受け、東州の断世たる鄭氏語が指於に包まれ、わが耶稣が日意族を城壁高く飜へし の途次黄村驛頭で戦死した、このほか北平城内に於ける同盟記書の死傷、黄行附近で戦残兵に狙撃された新聞記 麾下第卅八師(約一萬名)の精悍なる部隊を敵として撃滅すべく出動した皇軍に従 の有様を再び報ぜねばならぬ、。全は川岸部隊に参加して田郷以来辛害を共にした 他の野土も除りの激戦がりに「衛州事髪中にもかくる激戦を見ない」と唇を聞んであた て出發した、 岡部孫四郎氏は部隊寫眞班松尾幸助氏と共に廿八日軍司令部を有する南苑に 張自忠 **着等報道庫の被害は夥しい。無能は終たれ、電話は杜純し、連絡頭の往来は思ひもよられ、今次の激戦に参加した瞬刑事態出** 宗は名狀すべからざる、肚烈、凄惨、勇壯、そのものの 極を盡して展開した大激戦 この日建攻撃の命下り、侵後の決戦に移つた午後等時半、危険を得して侵和線に活躍中、まづ四十十号 大阪朝日新聞記者

戦火の静まると共に漸く死地を脱し金は鹿を飲の忠勇の主を後途する列車に危険を聞して便楽し、戦場の登 真赤にたいれ

總攻撃刻々迫る!

上に形然しい假題の際を結んだと「軍で第一線に向ふことになつた。」る「腰廿八日午前五時十分であ」の極度射撃が開いて来る、黄月線は足の階級もない。ごろりと地」る間もなく呼び十軒の照路を飛行した。丁庚廿八日午前五時十分であ」の極度射撃が開始されたらしく、 成了る中にも出動事情のため責行の各部隊は長途行車に疲労を休め、き上るなり靴の紐をしつかと結ん #WYを増して整 思さと変和、南極の攻撃の部が下、和明さい交流略の大地を破って起 既に南地 では異態疾物がを増して整 思さと変和、南極の攻撃の部が下、和明さい交流略の大地を破って起 既に南地

1撃ちまくる

侵後の実際によって実施されたこ 火災を起し、兵会は三元前場を漢一吹かれて來る。左右見渡守服り火

トーチカ線の重推聯発型の跡が一を思けせる機なすが!! 解挟が無数 | 空温ではあるが無数の群島が径奇 このあたりから酸氏の死體が能

一條に道走した職民の強狠した状況

はまつ黄な砂煙をあげて南蛇めが 余の後から追ひぬいて勇壯な皇軍 が到るところに配捌されてみる。

敵一衛部隊の陸頭に乗りれた他戦こそ

天津、豊富間の鉄路を死っした戸 職点開入律、北半間の北野戯路中

敵の手で選出目を略

東矢の突撃路が成功した、ワーッといふ喚撃、高撃爆を着みにじつ 投戦史上記録すべき大瀬戦の原開だ、やがてごら終たる機管と共に (北平街道を一さんに敗走を始めた、追撃する騎兵、闘歌、正に) 敷なる繁殖戦を配置し、不暇不将 難にはそれ/→○名力至○名の少

上にグッと二千米の前り頭頭地を脱んで立つた川岸部隊長

な状質が実験とする 落するよりなに突撃路開拓をやるの

余を顧みて「イヤア、

に抵抗してゐるよ、今に見給へ、給へ、我軍の破竹の勢を、敵もな

をやるのか、よか見給へ、敵陣は陷った。 ごうだ見て呉

隊長はニッコリ微笑んだまゝ見じろぎもせず

つ、走り去り、再び走り戻る、鬼壊の上を氣も狂はんばかりに部下

の名を呼

准尉がある

涙を流して部下を求め

余の筆は最早これ以上に

ビュッミ敵弾が前後左右を飛び散る、川岸部の震変は力量くも発揮の武鹿を照明した比談なる間だ、ビュッ

のやうだらう」 金麗なる、午後一時、大地を身をゆるがす笑いである『藤井君、秋季演習 の流彈はわしを避けてゆくよハッハッハッ た議笑が交へられる『〇〇、おあぶなら御座いますも少し後方に 事な機能を行ひつゝ、難況は正に酣、難兵の一部は早くも選足工 緊張の痕を顔面に張らせてあるものく何ら平常と異られ落つい

帝國のために、草蒸す屍と化してゐる、硝煙」の順報する義願看後衛則與の賴軍將兵の死屍は滿足の賴笑みを浮べて大日本。日日で食もなく而くせん日就に超った、おゝ鬼神も泣かむ忠勇義烈なる皇、華氏の傳名は高漢鵬に母を觀め風報はかくて躑戦八時間にして陷害、日童族は高く錦へり、吳登の愛目に遭び辛うじて一等氏、 下さい、では、ゆるやかに川岸部隊は進撃を開始した、 等兵の南名は高梁鵬に身を漕めて「敵は木端資脈」

前零時突撃の命下り、突撃喇叭の音と共に抵抗する蘇耶蘇のため飛飛は益々攻撃の手を覆めてゐる振雨

又突撃、午後一時南苑前面兩端の設堡陣地は鋭無比のわが川岸部隊の肉彈步兵部隊は突撃

揺がすばかりの萬歳の聲と共に日章旗は城壁將落、ドッとばかりに我軍は兵衆のがけて実真し、天 地を 天地を

一脏鹿を押し立てた。忠明なるわが戦死者を引

日章旗高く

微笑む勇士の屍

重々しくも晴やかな勝利の瞬間

血浜記が到着した、明文に日く『一座もせぬを作きまで、晩杯も思さに変せて、佐関血戦中に筆ご拳銃を握りながら 綴られた九死一生の從軍 **縦に触る食は末生きてゐるのが不思識な値です。身體中臓だらけです呵々」 縦に触る食は末生きてゐるのが不思識な値です。身體中臓だらけです呵々」 患載苦悶をしてるます、通信一切は天津でなくては取扱は口ので質に決死筋の圧動を禁しま**

落ちてある、余も戦味方の庭の山を乗り越え、乗り越 **トになつてある、果敢な実験を躊躇る衛助手が二名斬壕内にくづれ** 展認能地を示すが如く断率を飛び越之際の政係随地に関入せん た我駆士が蘇の単の如く、全身を機關読丸でぶち 足の踏み出

影後の重を示した重力が二丈の魔跡地壁の中間にぐつ 苑を遂に占領した時に午後一時 手榴彈の不發彈か

げられ友軍の績々入城と共に 状軍は南

とさされたま 以かれて ある っなく投擲さ ら自然様々と

之殿師地に我| ひします」と確を製が取って来る、突如月はあれど 祝に収納された服装の開きくぐつて職業手分や 戦たんなる原分がやうやく追つて来 、 明中軍階 #四での、別でいまラップにでした概念のして思いるとそれに「新聞記者さん、新聞記者殿、水を下さい、お願いといい、「「「「「「「「「「「「」」」」といい、「「「」」」といい、「「」」というという。 持つかな ババーンと發砲だ、別場をおすので罪がはビューンと確和。 塩々たる暗雲に、さされた高、炎畑の彼方から 際を過ぎて節廿九軍の兵器が幾つてゐる 生ら、スハ爾也!風せき切った別事長が一条院を持つて方 歌唱を 前列展は前方の鐵路が破壊されてあったの文化生の止むなさに長り 飲料水の配給、は光光するところが出るくになって - 僅かご難を膨み悪度の製館を概退して無惑の飛艇前れなる に強者せんと子る直

股して繊維関東を脱んで前後を意識しつくこれに膨大性に空間を破けった方に衰減して下さい」と意識して来っ、全工条派の保全難を まれ、傷いた兵士が「俺も打つから銃を貸してった、つづいて起り前後の鳴中かい戦災の響、別県け高し緊張に包 くれ」と健けに身を起してくるかと思へば もなく山外に飛降りんとするやつと抱き止 ドアを排してアッと言ふ間

も聲なく、重々しくも晴れやかな戦場である 泉を湛へて深く頭を垂れてゆくのだ、人も馬 泉前線に皇軍戦死傷者に川岸部除長はじつミ 弾雨の間に見る皇軍正義の奮闘の場面である は、現場と、からいのにた、外のなは確認に属。 砂碗内を搬進する。 窓中を産業なくされた、全は大概部は、対した、外のなはであっ、そうそく総職も破壊、対助は総でかに終心した、外のなは潜してあっ、そうそく総職も破壊、対助は総でかに終心した、外のなは関いによれより重要する。窓中を産業なくされた、全は大概部隊の知典にこれより重要する。窓中を産業なくされた。 らう、全流域な意思をやする!! 聖つて にっきした。 のか なんと悲壮なる息話る場面の連続であのか なんと悲壮なる息話る場面の連続であて車内に…し入れれば「あょ、 節は夢を見れ 重任を含ひた大義事隊が先行するため、この別也は一時間何に伊事 方の鐵橋が破壊されてあるため立住生だ、しから 4、史雅した整個県二名の謎の製造を聞く、集二名に難及の遺骸を ため醍醐御師を抱へてある。午前十時十分 一修理成って 何る、私で父もや部前破壊のため降 急行すべく 際で再び

書き強す 著題に削するため夕塘迫る傾肩膝に緩留を確ぜられた と見述ってある。やがて座が停場中に 決死の氣を眉等に獲らした民は常らの頭眼をギク

変なる養殖など記者し、不敢不将、戦するのが領に遭遇したが、終ちて途中の各駅及び検査等の重要地、戦も就せし日の安観で十支信する天龍総派の限上要職をはじめとし、ては見る事が出来なかった、落長天龍総派の限上要職をはじめとし、ては見る事が出来なかった、落長 名脈 すべかしざら聴多の うするため電馬機を掘った記歌が 功績が重積されてある。天津東站|まざ!~と記録され余も決なくし を行けれ たが鮮門に 遂れた陽長 か、班長軍門は ほしめる機殺 総法下り、公路際は外側に若行の部軸兵を任して南中 方面に向銀天は邸折中国で大統の国が完善って来 、大楽年職人より進襲の 八百名もう よノー するのが見える、沿線には未だ政境兵が、る遙かに臨む る別はかい 鮑をドカンノーと是舞ぶ、明くれに由一日午町一時 むこの常地上で来るの最で、そうそくと著声信子 してゐる、 これ」のがけて進行す 高水部隊が急行する 方面に向

は耐かに 器が積まれ戦軍の勝利が弾かしい、中間九時東站際フォームに列車 資財配だ、鐵路脇の土養に正規長、堪防上に保安隊が射殺されてる 發車後死の 線路を 出發以來實に卅三時間

てよく耐熱理に高水部院長はトラックに命じて日頃は戦慄すべき支 したのだ。殿をとし

うりが看取され の他の高層が乗物に一角に耐燃して低量に弱せしめ、原理には伸び、現年は情熱、支那街の支那氏の連繫の地點となら北壁鏡路事務所名 をになった。 野自部隊 田麿 が余に「帯び第一線 とになった。 野自部隊 田麿 が余に「帯び第一線 とになった。 那街も今は鹿鹿の如く柳まり立つた中を日本田寺めがけて継続する **総」を眺ひ推手を以て窓(てみら、窓域を那の収象が返れにも生きやかな底に続け、余いのトラックを目がけて歌の日草属を振りて異なりにいいた立文那人が後週の日草属を原収算な歴を以て皇軍を見まける。 隊度も安通整理の邀加の変もかき消すやうに失せて、うつろのやう**

るや窓も我國火の集中攻撃により て敗走、遠く) **精の入わらと、所々を加重に要はれた開気の続き止めてあるが大なんとする姿なのだ。死の何のやうな支那町かし、お日本町発に足を** 京零时 る被称もなく半島民が結成した義勇軍が廿九日午

じく租界警点に活躍し。第一線から凱旋した白孝哲氏(四〇)の弔ひ合戦の意気 のだ」といかり余らに萬歳を浴せかけてゐる、

つ頭がされて

這ふやうに後送列車ゆく

一 化線をたどる

軍の武勇を十分傳へてくれ、そして一刻も早共〇名と共に便乗、帝に向った、川塔の戦災の『我 傷兵後送列車に川岸部隊長の情のこもる掩護撃をはけまして影響を飾り合いた、午後一時平分、一般戦 響をはけまして武士を飾り合ふのだ、午後一時五十分 一般で戦るのだ、治総治戦、また治戦するが派とすれ違ふ様に互に手をふり 我軍に歸來せよ再び戦場に互の重任を果さ いて離れない普 五日來小さな握り飯一つを良い、一にもしな既に全の人うでもなく相が展、カッエー語を提出、正確して心る、 の最前級に死線を越えて実人し酷じて生物を斯すべく間海たくとい 三時日本紅渠西方の統日分子の本展館開大學の蝦(こるだりした、 力温き紫土日本を駆けせる町布の姿である。 わが池上部隊は『西北京の名字では『世上世界 余はまだ一命に惠まれてゐる、版だ、通信 道語に杜越し、水道も緑水近き日本祖をから父もや川岸部除 「開発を聞きつ」作能を練らればなられ

ある、午後九時

二面は寫眞特輯ペーチ

侵る程度の建

銃身も裂けよ砲身も割れよ

精鋭無比川岸部隊の突撃

処態攻撃の命は釜に下つた。時に廿八日午蘭五時半、 へ引令部をはじめ軍官學校、長器、蜀栗軍その他暴民祭まりなき 腹がある。第十

惨闘銃、小銃をトーチカ式の銃腿より我軍に誤魔を定め早く 熊の城長は大無難塔下に関西と里に達する大兵員を固め迫撃砲を **刈貯離に二火館の二重の塹壕を構築した不審の竪面さを示し**

突破してゐる、五時四十分、賤雲をついて我軍用機〇機に爆音高く 果菌ガドり飛來し巅陣地上空を旋回し、我軍との連絡も成つた、 と過ぎ去つてゆく。高速をゆする微風はあれど酷暑に正に百度を 沈默を忽ち破つて、異軍用機が築くやうな歌

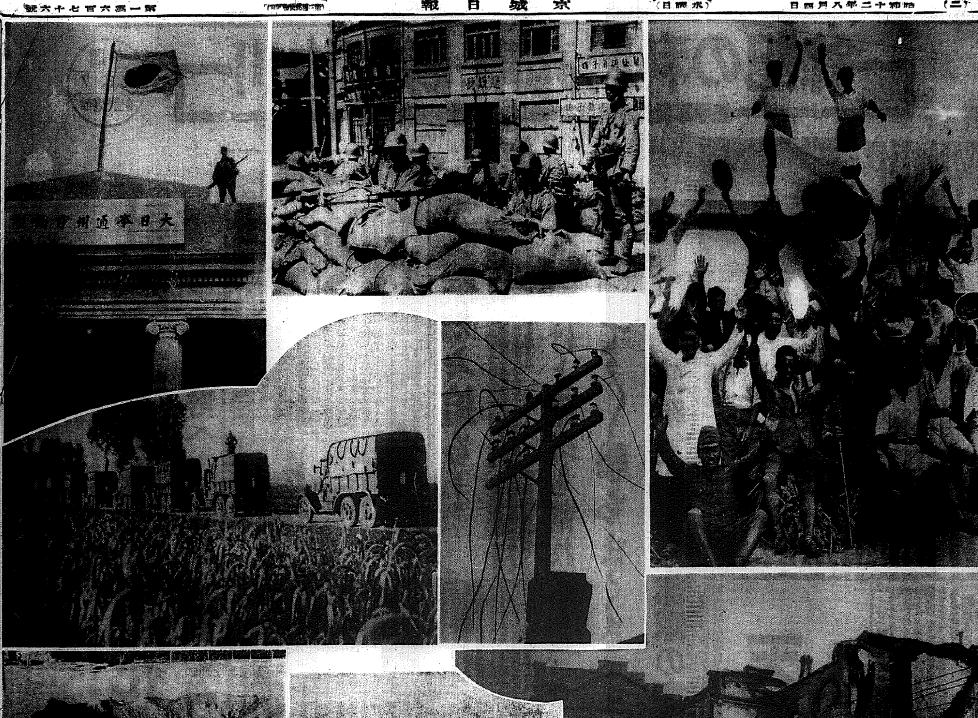
館も物後い近に緊張してゐる、流量は虧え間なくピュッノ | 一般前二千米の地點にある三合班の地上和十五米の煉瓦礫さ篭の上に 回と学様はつゞき、荒酷を思はせる壯烈な地 の雨を飾らした、ダダーン、ダダーン、炸裂する機器を立て、飛来したかと思ふとさしもに厳い戴兵管内めがけて爆弾 左右を飛び交ふ、文字通り彈雨下に曝らさい場の暗音のやうな響きを立てて最近を見つめる余らの身づい 彈の集中投下に砲煙は忽ち天に冲し、二 かりに一分形の暇もなく撃つて撃つて撃ちまくつてゐる、闘兵は全 く我軍の總攻撃は開始されたのだ川岸部隊長は 爆撃を敢行し、 愈よ茲に敵の主力を殲滅す 悠然全車を指揮すべく軍刀をぐつと握りしめてある幕僚の

在には何ら迫力なき言葉である。手記するところ或は何時死記とないというである。九死に一生、萬死に一生の形容詞も余の別 金の行くところすべて後表徴載の過中のみだ、一歩は生、一歩は死 選を知し得た余にも水かいる日が何時見舞らかも図られぬが、草茶 葬る茶毘の煙がゆるやかに流れてゐる、ぁ・生

にて卅一日藤井特派員發

竜旗のへんほんたる所に僚友 部隊長と少きブランデーの転標を行った信誉地を見れば日

しつく、本臓をさがし水めて トラック便楽を 求めて來た、今7はのである、苦塵を厳立て、日く手に傷いた我勇士二名が互に際を貸



孝天の撃場[下右] 遠萬の軍勇能が我いしま勇る於に辨過[上右] 複破に兵務支爆暴[中]動活の軍皇る於に谏天[上中]角一の内市 皇ぶ吗を蔵萬し領占を所船造沽大[下中]練話電の頭村場たれさ の范南[下左]進前隊ケツラト[中左]隊備守軍皇の辨過[上左]軍 支北一番兵軍邪支は物産の方前跡の撃爆軍が我たへ加に登兵敵 一適関検軍屯駐

URARGOL

つう次の放尿時まで、間断なく殺菌と、外管は直ちに溶解し、内容は粉のと、外管は直ちに溶解し、内容は粉のと、外管は直ちに溶解し、内容は粉のと、外管は直ちに溶解し、内容は粉のと、外管は直ちに溶解し、内容は粉のと、外管は直ちに溶解し、内容は粉のと、外管は直もに溶解し、 作用を持續するのであります。 しかして、此の粉末は、直ちに溶り と深遠の雨によって尿

を併せ得たる點 銀と色素を化合して、 教盛力と粘膜深邃性

用

獨特の殺菌作

即ちウラルゴールの特長は

桑種貿易商 東京市日本橋區本町三ノー 發寶元

友田合資會 類 著 日 遊 ・ 東 京 ・ 一 九 三 人電話日本語(七四八 七四九

醫界の先進國、

獨逸に優る

世界各國の學者が苦 心

一回にて數時間にわたる點一、粉末なるが故に、殺菌、深達の南作用が、

状態として再發を防止するのであります。 淋菌をも撲滅して、排膿淋絲を消退し、無菌 道粘膜の深部、或は側管に潜在する頑強なる でありまして、此の方法なればこそ始めて尿

ひに本邦に於て創製!

道粘膜の側管、或は深層に潜在する淋菌 致した意見であります。 の撲滅が困難であるからとは各方面の一 者が少なからず苦心して居ります。しか して淋疾が容易に全治しない理由は、尿 淋疾の治療法に就ては、世界各國の學

獨逸が 先づ成 功

名の泌尿科薬門醫及び、専門外の臨床家にまで識され、現在に於ては帝國大學病院を始め、奢家の實驗を經たる結果、其の優秀なる效力を認家の實驗を經たる結果、其の優秀なる效力を認かくして此のウラルゴールは、多数の専門醫

普及使用さるゝに到りました。

之を醫學界に發表して非常なる賞讃し入薬とは全然相違した獨特の治療法と ラウ大學の皮膚科教授ブルツク博士と、に於て醫界の先進國である獨 在淋菌を撲滅するために、内服薬、 議と名譽を博士は、この潜士は、この潜士は、この潜士は、この潜

というならず、其の使用法は類る関係安全にて、何ずの が動なくも、或むに使用する事が出来、尚は其つ兵時間の作 用中も制作用、刺破等なく、本がよのとと暴る所がないのも クラルゴールの誇るべき体長であります。

無經驗者にても簡單安全~

之に追随してしかも優る}

たのであります。 つひに彼れに倭るものを創製し、之をウラルゴ専門家の指導協力の下に、多年苦心研究の結果助時に於て、吾社も亦、之に潜服し、幾多の

選性を發揮する色素劑とを、 しかも刺戟の無い特殊の銀劑と、尿道ウラルゴールとは、淋菌に對し殺害 尿道粘膜に深 菌力強く、 方法で化合

て快心の結果を得られん事を御注意致します。性淋疾に對しても、連かに此の新治療法によつ性淋疾に對しても、連かに此の新治療法によつ染早々は勿論、數ケ月、或は數ケ年にわたる慢

は、質に翳界に對し大なる貢献であります。 よつて、とゝに新たなる治療方針を得ました事でとされてゐましたが、ウラルゴールの完成よ

故に未だウラルゴールを使用せざる方は、感

ウラルゴール治療方針

一、普通の慢性、或は再發の患者には、最

一、感染早々の患者には短管を使用された

性固疾症の患者には、短管、中管の次惡性が、或は數年、十數年にわたる慢 初に短管、次ぎに中管を使用されたし ぎに長管を使用されたし。

短音 三本人(蜂防用) ウラルゴールの種類と價格 オポーサの円七五

長 (日本) と (日本) 日本 (日本) ĨE OO 00 E

一本の投跡時間、三時間より六時間使用に乗する時間、一回機が二、三分液暦用としては、一日一本或は二本使用の寒 . 外に大雪入、霧腕用あり) でも直わに投送す。 でも直わに投送す。

(前命註及は登料不要、郵券代用にても可)

T. 434

従来に於ては、淋疾の根本的全治は容易なら

速かに新治療法にて

用材國策を樹立

示し既に四萬の人口を擁するに至つたが、本府內務局では明年度海州邑の府黄『道海州邑代黄』道廳所在地として交通に各種蓬業、經濟に著しい躍進を 制質施を行ふことゝなりその關係豫昇を明年度豫算に要求することゝなつた

鐵の軍需景氣

八月は悠々百廿一萬圓突破

直ちに二十師駅司令部が残然し

消防組の勞

に対し税が傾に補助遺林を炒動すとして道では今後上流一僧の各郡

ることになり日下記載を含いであ

駅の聚ひなく本分を至うせしめる。 蔵に各版船を活動させるものであまれば単後級の質を暴け組入をして後、の粉劑を掃用して螺路に文書に際、「大印」、既北道では緊張を通じて、この時局蔵融影脈にあらゆう監督

ちかく具體案決定

正 顯 木 市•京東

瓶

能に國防義則是は女生能達の膨拔 武道長久祈願祭を執行この日郷軍 を得て第二国献問義、「百両を周襲

酸な一大成斯を関しつくある、低級無限と相俟つて遺林鶫の上に破財

百萬本権裁計費は昆事成功し、上上流地帯の居松、朝鮮松の毎年二 脈の指導下に配急機関中であつた

田丸警部補着任

市地帯の活着は實に百パーセント

成所状況を示して同地方の愛林

二日取身看低し三日各官公署職にへ突破の京城省藝部補田女職氏は

よくなり元氣に滿

つ

しわる

子夏原

銃後の後接徹底 部落や中心人物を總動員

観光客はガタ落ち

||道海州邑け黄。道廳所在地さして交通に各種産業、經濟に著しい躍進を

南朝鮮總督告辭

明備し極時一部襲更所指報告を展開なく素敵し山林空局に對する影測荷蔵あって引配き結婚をを開始入くまない。可決定療、會員金元収定額の開館を結婚を

一部関する一分間の野獣を挙げ終って理論数三世に次で北支事製出動量軍に駆闘し各衆の英選を

海州邑に府制實施

き機器取調べた結果、同女外五十一で腹翼したことが映明、心人一味

見事百%の活着

もせず酷暑も平氣です

離 合酸仙

毎年二百萬本を植栽の計畫

五頭(和優勝陽體に限る) 見るとは全く進つ背年圏▲背岳 優勝族外現金十 常地に初めであり加金 毎閲婚三頭▲申込 臨州 探り語りをしたが、

更に積極的に獎勵

三建議案可決、廿氏を表彰

北支つ默禱を捧けて閉會

定の無り一日成用的動物を特で開版、出版者七 百五十名を突破する無況裡に午前九時五十五分 《成集》第四回山林大寶蓝朝蜂山林曾經濟江承

川下林政郡長代蔵、咸南北江原三道林樂功彦佐々木蔵南山林留技の開留の鮮、曾長式鮮、

不都合もの横行

断然槍、玉にあがる

タイヤ變更

て行はれる鑑賞の監暗製更メイス情律】八月四日を期し登等に亘

流言蜚語を逞うし

腸を丈夫に

身體が倦くグツタリする

きり暑くなり

して食事が進めば

暑さも平氣で元氣が出る

支塵機事分局へ密要した

して解雇されたが戦争せず、その、取題べ中の政権へとは主意百数十個を統領、第三級権人りとなり清州署で破棄

女まじりの

阿片密輸

支那人一味十一名

清州法院へ局送り

內石樹町語資業林邀縣氏方服人、

十一金貨(質) 「流州」邑 後林氏名戦では前ので料理師

・ び服役場が終(十五英國)である「異称で北支倉市場に活動する」 ・ 英國)土木(十五英國)である「ことは管に僅かな月齢の中から ・ 大英五千國)通路及び下水(十五 | 上口員の財館) [1月] す局引力値で多角大撃江の地震湖 | 寛一大友柳太郎、高津曜子寛領であるこの方法をもつて施行する智 | 京城日報北京供 | 東日北岸の際で

本年度百十六萬四千圓決定

即、日大數機器山道三氏、下縣政

|動の前途に大きな観點を投げ現へ、では底影響形による三部脈動物方||摩臘では重て顕微でスタボスト影響の動に激生用り影響記しが跳りゃられるため中間影響が跳|| 下された蛋白に備へるため下す。

既住間村の朝鮮人約三千九一 二學級百四十名收容案で 入學難の緩和計

防毒マスク

流れ模擬として十五ヶ年計費を立 |金瀬州に十五十日日||日に一年に一 、あるが、同公司では新規事

島農民を移植

満鮮拓殖の十五ヶ年計畫

初年度に着手の事業内容を関記す

国品名)安陽縣一〇三八月 | 百三十月一萬九千人を加ふれば公 中から大味まで第三部を大等半か五二九五八九洋勝七二一月三八 | 西郷登閣が内轄閣の魏政教七千月 | 6十時までとし二郎、三郎の見武月 | 九五八八年 | 1 大八月 | 1 大九 | 西郷登閣が内轄閣の魏政教七十月 | 6 十時までとし二郎、三郎の見武月 | 1 五十八日 | 2 本本 | 1 西郷登閣が内轄閣の魏政教七十月 | 6 十時までとし二郎、三郎の見武月 | 1 五十八日 | 2 本本 | 1 西郷登閣が内轄閣の魏政教七十月 | 6 十時までとし二郎、三郎の見武月 | 1 五十八日 | 2 本本 | 1 本本 合計三只一戶一五、一 初年度の割當決定

五七十一を削かせてゐる

関析内における初等學校の入學館が充分にあり、若し實現すれば平

年に一萬戶の

に腹部状人間十萬二十八間に脱煙。|皮味かめつきり蔵がされ縁脈肿た。鏡丸五十箇(一箇六圓五十隻)を「牛塩)牛腿六月中の楽遊を見る|鑑の腱りとする脳速脈習に時局の「のもの百箇 [二] 節九圓五十銭)直

この中勢動脈發二十八十一千百二五月に比較すれば問題になりぬ、 るべき六月中の往来勝盟敗は九十

一性で三千三百四十一人となり四、即席此本書記に申込まれたいと 用語してあるから希望者は形態社 開城府民の

間金として耐寒に客部し北本町沼 開城一般微に織り出された所民 で成し二日キリスト教師鮮島^川 溢れる熱誠

丘爾組頭以下組排四十名世出近砂 「陰城」監戒。年、岡門明祖では 事に一日知労働奉仕をなし労

に出土・工夫の工作会「既州」者年國では十四、十五兩(に一層経過については今北東東級総領では忠。日に亘り第九回記載數率大衡を左った、在は既指揮については今北東東級総領では忠。日に亘り第九回記載數率大衡を左った。在2世にから、日時、十四、十五兩(に一層経過で正しき酸鉱については今北東東級総領では忠。日に亘り第九回記載數率大衡を左った。在2世に一層指揮体費を担を務例し二日年前、立野湾表。 日時、十四、十五兩(に一層経過で記憶については今北東東級総領では上)「一般に関議指揮については今北東東京、「「一般に関議を表」といる。 近畿蹴球大會 十五兩一に一層銃役の役扱に盛すことしな を總數政して際挺の強、協威と共、の腰内膜原験事館で決定し直に各ことになり鹿提各都落、中心人物 る、耐してそのよう院軍項は二日

む夏やせが逆に肥る

體伊那の谷特産

平氣な配健體となる 腳 造 簽 赟 元信州上伊那郡南向村大草

夫女田松•岡福 特に御注目の上お求め下さい。専賓特許鹽洋家養命酒の文字に **送料質費を要します。 送料本舶資盤、代金引換は東京出張所へ直接御舶文は**

₩全関有名の樂店、 百貨店にあり **梅帶用一圓五十錢 禁用四三**

酒

鹽澤家三百年家傳

託した。一個防献金として警察署に寄 は十国、司町職本が氏は一 酸金を取締め百二個を府職に献金 して否託し南山町橋本曜六郎氏 普校生代表 聞とそ

鬱戦は軍人家海撃闘のため一銭三【臨城】撃城公署校生徒七百卅名

軍人家族尉問

牛島に初めての彈性波式採用

る第二大同工銀機架設の均質調査 | 舟を浮べて工事像定統路の中心線 | 法は卅日交は五十日間を楽したも 【子選】大駅江鐵機と共に服工す | かして彈性液療養法とは河上に小 | 査するもので、健來のボーリンド 次で大寧江も着手

進み迚も丈夫に働け 郎 三 木 並・京東

養命酒本舗天龍館

◆幸藤 前産後の婦人 ◆ 本庭 新 を 質 の 人 ◆ 本庭 新 を で の 人 ◆ 本庭 新 を で の 人 ◆ 本庭 新 の 人 ・ は 気 が と あ の 人 ・ は 気 が の 人 ・ は 気 が の 人 ・ は 気 が の 人 ・ は 気 が の 人

小•母三

3





、援軍を送り

上海三日赤星本社特派員發】三日 央軍大規模な布陣

は真東北軍五十七軍の五個師を津浦線で北上 國民政府、廬 楔な戦備を急いでゐる、援軍として

共産軍を利用

皇軍の後方攪亂策

海三日赤星本社特派員發一蔣介 の重要書類を洛陽に移した、蔣介石自身による南京方面の爆撃を豫想し南京政府可避と見、戦闘擴大の場合、日本軍の飛い避ら見、戦闘擴大の場合、日本軍の飛快定の線で中央軍と日本軍との衝突は既保定の線で中央軍と

-央軍輸送列車を 移されるに决定した、白母も近く廬山に赴く豫定で、 どの説があつたが未だ歴

一般してみたが北なったといはれる。なほ共産気は

現下八十一名、沙部の小華飯単代 北文ノ戦人民の保轄方を中出で來明以下十一名、沙部の小華飯単代 北文ノ戦人民の保轄方を中出で來明以下十一名、沙部の小華飯単代 北文ノ戦人民の保轄方を中出で來

総財産を十分類重してをり天津に

につき其體的打合せを行ふことに 幹部は開京に赴き中央と作政形数 むっに決し影像慢外一名の共産原

「漢旦三日同盟」官員の田

邦人續々避难 官昌、沙市の

学生するやう日本単に通告を2 が上するやう日本単に通告を2 が上するやう日本単に通告を2 今回の分は問題の が上するやう日本単に通告を2 今回の分は問題の から取り合うでは多様で本日左の通り合

海りの御殿町を土の第二天第一

名である 一般操御下の將 三般操御下の將 が北江

者頭に行

(京高語) 南川上海南単版で町 海軍第二次行賞

文単数型体に伴い地産業の遊言と「右作戦の統論機能として抗日軍争を占理教室方面より総計に逃離軍 委員幣を組織すべく機能を進めても占理機道南方面より総計に逃離。 ある機線である 駐支佛大使

二回に亘り空爆

平綏線で多大の損害を與ふ

わが配慮に感謝

列車中には観覧せるもの少からず多大の損害・事節の節に減し天職における今次、で楡林堡において軍用列車を爆撃せり、「初フランス大戦は武武監を日益等・に対し懸謝の意を表した。」「国第二日間盟二三日正午南京駐 事数に願する日本廟の趣を

漢口の取引 全く杜絕

、税制の根本的政革をはか働渡民間間代表を加へられ

。口頭を以て左の如き抗菌を行内容につき詳細証明流解を求めた

總額を明き四日衆議院に提出すべ

稅制調查會初總會

(岐阜陽)

関係の整告左の如し 社大三派以同に常決場出 重加東算に對する民 附帶決議と警告

間す 時四十五分散射 一切の一大手後等

フラン引下げ

(東京府) (東京村)

を五分から四分

以所は北支導煙に開する拠台

會期延長問題

20三日本赴來訪

入事との間はと

戦が起ると京

しくが個々四五

のため三日本社所(陸軍經理學

17と園附近において車輸送中なるがわが中中サ星皇

閏分道城附近において裝甲列車を 開近において輸送中の列車を、ま

製による平山地方が民党時の一十萬元を答照した。

質の組過及ひ結果の報告あり

田和丁二年度各韓則曾計成人のの終過を報告、報告通り修正司出政権が追加案(韓第三號) 次、日代を続けて

大館開催費及し豊富職道統劃につ 勝正憲氏 (1

(民政) 政府は物

委員長語間甲甲雄氏(既友)委員

【東京龍店】三日の衆議に東昇島 昭、育里当石商門氏(総友)は土

豫算總會經過

酸人酸出像算案。最一致を以て脳緊可決決いで日報

朝鮮暴利取締

府令改正實施さる

天建二日同盟 支那駐屯軍

中央軍第八十四師は張家口より南口方面に汽【天津三日同盟】支那駐屯軍午後三時半發表=

院に提出の手機をとり同日中に教 意南端旅行山原館各政府官を通じ式決定の上直もに印刷に付し衆議 わが掘事に逃に職しても永井、中

利信形をの傾瞰保護法案を削弱止一之を省略して委員會に譲るべく。

兩日は政府→豊悟

而して本家の理論に聴して事態の を他の蝦夷一致本家の爾宗通過のを職院本的語に上班するとになった。 蹠豆蘭 湯始の各戦に闘力派師工作

北支にやらぬ

てゐなかつ

は何事とと

ない。一般が行はれるものと見られる

も腕し合せでその取扱ひにつき相

ので戦的も場合によっては一隅日る筈であるが財産気では六日午後

▲北文へ空の急 行力のある離成 行力のある離成 行力のある離成

氏力 いまのは神律 といるのは神律 といるのは神律

行使が實現した

と、この急行

押しで、たらと

本令は政布の日より之を施行す。明、則、

へられたとの報道がアメリカ人脳(松生三日開盟)フォックス処臓 事質なし、八氏の逮捕

館ではその転に融し頭に親音を駆ってあるや否やさへも不明で大使っている不明で大使

北院縦右起の列戦は一三時撃台飛折ぶし辺轍を行い北平盟)二日午前九時半一間十一時五十分撃台に接着,午後 豊台天津間は工事中

迷へる蘇聯

全く筋ちがひの抗議を

わが方斷乎一蹴

河邊部隊損害

行軍部局で調査の結果かかる車 行はれてゐるが當地我が大使戲

川越大使

越駐支大使は清水通路官島出書記 【大連三日同盟』 天津高在中の川 般の影響なで上海に融ることになれて投館した。大使は四日正午出

川大量化した前側鉄を設置すること
になった、黄砂脈によれば前間鉄
にはなった、黄砂脈によれば前間鉄

響である

關東軍新聞班强化

新京三日同盟] 職東山 、肉本精 一個内容共に機





くなさ支加軍の思慮なりを暴

歴の人々が朝から夜まで樹のれ、三日曜単省には各階総各

國民の憤激を反映

胞一同から電報貿易で送られ 如く殺動し、太平洋一萬五千 大郎に聴義のためで語された外帯 (お氏(年間不能)金果旭氏(この 以下班班石場戶三部氏("") 期出

位置好班巡查佣及日种城道也(

分署成六菱目の壯烈なる殉職駅

三日森島参東省より外務

内(wooの三)淡粒を加へて機能六名

京教館十<u>美</u>直音氏(三) 英品版大

慰療保護になってゐた、事性對 極度の不安にはその我が時日は

このたが、 年前当時各方面へ 時

にたのは部院の上京を地一伊た

により北小縣伽線本部佐野敷部浦

語に越し、さながらパルチザンを のものであり全く抵抗力のない婦 ハや無心の子供まで虐殺される

職であった現年の使用した難嫌の 川岸部院金融は甘じ、八日共に譲、事態の花と言ふべきであらら

| 翻し山下部隊の攻撃を容易ならし 悪隊長は戦弾に名誉の質似をした

表發隊部岸川

見よ!華々しきその戦歴 〇〇にて卅一日午後零時發 藤井特派

御内特配数に誤られ同社の飛行後、変は於まれ生間放入を知る人々は動物の関係の態氏の激性は同僚の一れ高野山住職等の觀話の郷に関供

か高野山住職等の翻紐の裸に侵供

大人精賞の歴況をえ、初日から飲

母

用

かさの国際督はこの日も午後四時

しく洒鰕中、北魏な戦死を蒙けた。遺情は鮎子 夫人に撃 げられひと腹礁の微戦に戦道戦士として華々 なかに朝日節 開戦跳 に包まれた

朝日機で汝矣島着

四日目

Ш 所造裝子稍量

プッコ印星

死の凱旋

欧朝日新聞社特派員、京城支局 まづ宿 大門通りの 支局に労闘さ

繁佳子もやんをはじめ鈴木大朝支 しめやかな通復が行はれた、なは 際に飛行型には道族哲子大人、令「和鼠仪は鼠戯談や知人際によつて

長が出血へ、流行場に振る哀劇の一

學校教授)拿永媛(メソギスト 存駐博子さんとよし子さんの可愛 友管理事長)觸相卷(中央帰敬 ユ 下さい』と組由線管官舎一九號 復(中橋院登議)安淺(大市崑 で下さい』と組由線管官舎一九號

い姉妹は三日本社を訪れて、貯金

然として脚脚したものである。由 せ入日の駐幌では山下部院は南京 超音部族は離野で数値の解の大幅は近に下れているのである。由 せ入日の駐幌では山下部院は南京 配金は町野野など町野山 サ入日は「原」たて、 一次弦の東南西に入り数値の解と真骸苦 「五ノ井部族は郷野で数値の解の後」院が海峡を立し部院の大平は監死の政策を自己で脚脚したものである。由 せ入日の駐幌では山下部院は南京 配合部族は郷野で数値の解の後 院が海峡をたし部院の大平は監死を向けて攻撃 五ノ井部族は郷野で数値の解の後 院が海峡を入平は監死を取り、対域に大きのである。由 せ入日の駐幌では山下部院は南京 配金は、野神田の大田四門を南張し 原にかえの変貌に便ならしめ南道の大幅大田の大田四門を南張し 原にかえの変貌に便ならしめ南道の大幅四門を南張し 原にかえるものが北京 は入日の駐幌では山下部院は南京 超音部族を置応に野陽し五ノ井 無抵抗の婦女子を

ツ端から虐殺

二目某所に達した報告によれば去 戦死傷者

の喧嘩

朝鮮人有力者が

温から脚宅、お腹がベコペコなの

長に一おい飯を早く喰はせてく

全鮮に時局講演

廿二氏が八班に分れ

を持ちあげて悪に投けつけたとこ

たんに『帝皈とはなんだ』と御膳

鬼畜保安隊ピ應戰全滅した 通州警察署員の最期

三時半端養婦分類に関節する保証、ヒストルを取って開業し、素成、後の如く、金銭に非社ど「帝師馬」を行うて来たので、器域に直ちが、保証権は分割を見入物理に取った。総一を加へつつ調を呑んで開死し、その知ら、金銭に非社ど「帝師馬」とて入つて來たので、器域に直ちが、保証権は分割を見入物理に前のであった。

総質所施新聞では時間部級を反衆

に配配せしむるため朝鮮人有力者

われ等朝鮮同胞に

徴兵令を施行せよ

在京の半島有志請願を決議

貴衆兩院議長に陳情

世長)曹素相(京都道管部員)「つい場立を吹き飛ばす顧風が落起し遊放起)季相傷(作日中観査師)で来た、魔鬼方面に中心が霊祗し孤顕(中限党委選)李敦化(天 て来た、魔鬼方面に中心が霊祗し孤顕(中にとなる。

仁川電話 支加軍ニカボスーい

東京大学の後年に出版につき、同一級の北支に海搬する中事に認識。| 本開館、日本園町の名のもとに関ーの工資目よりから普貫を称えて筆記入名に非常機能につき、同一級の北支に海搬する中事に認識。| 本開館、日本園町の名のもとに関ーの門路に関係を採用されたし縁の間後年の日路に同じて、年後人時「京朝鮮人は解散支那場館のため暦| 泰地本間寺に関館同郷有志監路 ▲町時志顕兵を採用されたし最の間後年入日後に何となく無常 | (東東支証特置) 事態認能・東征・離山は有志五十名は三日午町九時 れたし 時に家康の寄は各方面の連絡には、戦立運動に、豊雄動政に続後の赤「蛙同闘も一数闘語、芸蔵器公を確、基一型で可決、直もに李氏外四名「半部出身の諸公正、劉裕闘勲、 電前で通過して處、午前一般的院事未放園氏をはじめ信息率 | ▲朝鮮同胞にも微天令を履行せら | 四語事堂に世衆恵意識技を訪問、陳伽迦師を行ふことになったが、午前寺時各方面へ壁 | 歳を披露してみるが、朝鮮中央師 | 十べき選び方法につき闘議の結果 の世行委譲を輩出し、委譲は同す「歌者、異楽家を継続戦して大きが、午前寺時各方面へ壁 を開催、日本國民の名のもとに朝の二、項目より成る論顯決談文を薩・亞化運動につき協議の結果取取す

変態生八來の献金製能は品優さいふは『な献さとなり、事 ||萬一千七百八十一間十六次、學術獎勵金百二十三件 換算前凡そ七萬三千圓、献金 三百五十七萬三千六

観四十九銭という影響の数字 金一百團 京城府和南町三〇 朝鮮防空器材献金

金四圓 同上 洪进大氏

海軍恤兵献金 百五十萬圓に達す 十一種、合計百四十七萬 金卅七萬三千七百七十五個六

慮兵献金及び帰間金は落日そ ゆる研民の海道に對する國防

果見世話」変数の本数に数

日計金 二百二十三圓六十七錢也

金六圓二十二錢平安北道 日計 一千七百三十三國三十七錢也

金三圓宛 京城黃金町三丁 金五圓五十錢 非常時局に相應しい無火災月を 明一時襲 別さけれて 【珍名離典】 秋田縣雌勝郎 けふの天氣 母のとさるふ 第一生命保険相互會社 京城府長沿川町一二二 特別罕内

京城第一公立高等女金一千圓京城高顺一

金三十国京城附連家町一ノ

***********(八月三日本社扱

□ 野村千太郎
□ 大久保宮久井
□ 野村千太郎 一一同 4 二四 野村丁太郎本店內店員一城東中學校 職員生徒 金二十八圖 京城府著京町一金二百圖 京城縣廣大縣內 二二二 森下清人

便上通 (建以町) (基) (基) (基) 有 人人人

宋朝宣(曹成命曹敬節) 韓主 げつけたが、またその鰐切れが揺・突動で取職べ中(野州県等) 奉御警天道及徒員 こで今度は傍らにあつた膨縮を投 平瀬勢で取職べ中(野州県等) 奉御警天道及徒員 こで今度は傍らにあつた膨縮を投 平瀬勢で取職べ中、宋朝宣(曹成命曹敬節) 韓主 げつけたが、またその鰐切れが揺 豆。遠道坂威恩部片面石井里大工程 にはおらず低に抱かれ無心にオッ は去る。一八日夕安仲市、バイで吸ふてゐた次男像山芸(ま) 無心の愛見を殺す 市場だけで百八回だから今年は **西加十三萬二千餘國** 標制で冒傷の別があつたもの さないやりにするのが確等の理 …『大事を消すより火事を出 …このうも四十二回は新好

> 和洋の 海ミ山の

設備 眺め

海雲台溫泉

(釜山郊外)川

お場際

今、南京を大荒れ中 北東へ來れば半島も大警戒

高型院議師)李康祖(大連民友 (世) 本東祖(中語院 (世) 本東祖(中語院 (世) 本東祖(明) 本東祖(明)

週間方至一週間に亘って地方語

つてみるが韓向しまうだ、満州 キロのこの鶴屋が北京に急観すしてある、三日午間等時本 品に南京の風入来で、瀬田町町石井牧手の語で上海の東方摩上にあり中心ぶ 時で上海に東の風入来で、海側側面石井牧手の語・ しいしょう しょうしょうしょう

Ł 18

本人來源 年六里五中外頭灣的附品國安局 第六里五中外頭灣的附品國安局 第六里五中外頭灣的附品國安局 **配達** 赛曼年晚一七歲位是 本人來說

ルマカニス〇番 他女 本本

所に張り特に原因にて掲載す の連科会は削納の事件配乗関 団五十の限名は一則保に五十 五散所マーカ学誌一四五行一



語

· I



















式帶鉄荷造機 代理店

10

福鑛業

株

八式

ii 會

亦社

尋

ね

人

住所平開程版的四番山

ありたし、はず乳母至急人川希望者は本人

